

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 15 日
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	山崎、河内、中村、鈴野、鈴木、斉藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	7 人	1 人	1 人	14 人

前回の改善計画	新規利用開始 1 カ月経過時点で、ご利用者一人一人の対応状況を確認して、ケアプラン(介護計画)がそのままで良いか確認する。ケース担当、ケアマネ、管理者を中心に見直しを行う。 ご利用者のケアプランの更新時期(認定期間)をスケジュール化し、可視化する。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者はスタッフ会議、普段のミーティングで情報を共有し対応方法を検討できている。ケアプランについても更新時期での見直しも行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	9	4	0	1	14
5	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	5	8	0	1	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	6	8	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	6	7	0	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始前にアセスメントシートなどで共有できている。 ・家族や介護者から不安な声があった際は面談や送迎時に話をしている。 ・新規利用者への声掛けの工夫や席の配置、過ごし方への配慮を行っている。 ・日々の申し送りで情報の更新を行い、食事や排泄、入浴等に不安が無いように関りを持っている。 ・利用者との関係性作りを意識して本人が利用に否定的でも工夫をしながら利用につなげるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・送迎時等、ご家族に会えない方もいる ・利用開始以降の知り得た細かな情報の伝達がうまく出来ていない。 ・複数人の新規ご利用者がいると情報が把握しきれない事がある。（業務に追われてしまう）自宅で 1 人での時間の行動は把握が難しい。 ・本人の抱える不安をご家族と情報共有が出来ていないと感ずることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
新規利用 1 カ月の経過時点で、ケース担当・ケアマネ・管理者と対応について見直しをする。利用開始後の様子はケアマネを通し、ご家族から話を聞き必要な情報はケース担当が情報収集をして再アセスメントを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 15 日
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	山崎、河内、中村、鈴野、鈴木、斉藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	4 人	6 人	1 人	14 人

前回の改善計画	ケアプランの更新時期、ケアプランの見直しの際などは、管理者・ケアマネ・ケース担当でカンファレンスを行い、変更点などはケース担当から説明を行う。スタッフ会議、ミーティングを通して介護職同士のコミュニケーションを図りケアプランの内容を周知していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	人的、時間の確保ができず、ケース担当を交えてのカンファレンスの開催はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	8	3	2	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	9	2	2	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	8	4	1	14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	9	2	2	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 日々変化する利用者の気持ちに沿った支援。会議やミーティングを利用した情報共有。 - 日々の対応の中で共有すべきことは伝えられる状況にある。 - 朝晩の申し送りで変化があった事を共有している。 - ケアプランを基に日頃のコミュニケーションから本人の希望を共有する様に心掛けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 担当スタッフとのサービス担当者会議への参加が出来ていない。 - ゴールが把握できていない。 - ケアプランへの意識不足もあり、担当者会議での細かな内容は把握できていない。 - 全職員が利用者の目標を知りたいという意識が持てていない。 - 自分の意思を伝えられない方の目標が把握できていない。（意思を伝えられない方の自己実現が思い込みになっていないかの不安がある。） - 認知症のご本人と家族間で希望が異なる。（スタッフ個々の気持ちが優先される支援になってしまっている事がある。）	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
ケアプランの更新時期、ケアプランの見直しの際などは、管理者・ケアマネ・ケース担当でカンファレンスを行い、変更点などはケース担当から説明を行う。スタッフ会議、ミーティングを通して介護職員同士のコミュニケーションを図る。 スタッフ会議やミーティングの場でご家族・ご利用者の目標を共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 15 日
3. 日常生活の支援	メンバー	山崎、河内、中村、鈴野、鈴木、斉藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	8 人	3 人	1 人	14 人

前回の改善計画	認知症対応やご利用者に対するコミュニケーションスキルの研修に参加する。参加したスタッフが、研修報告以外に、実際に講師となって他のスタッフに研修内容を伝え、事業所全体で研修内容を共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍の影響もあり、外部研修へは消極的で参加できていなかったが、認知症実践者研修に参加したスタッフが講師となり研修内容を報告する機会は作る事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	6	6	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7	7	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4	10	0	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	7	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	7	1	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修に参加した職員が講師役となり、会議等で内部研修を行い、スキルアップを図っている。 ・本人の状態に合わせて個々に情報収集し、共有している。 ・各ご利用者に合わせ、状況に応じて対応出来ている。 ・体調や様子の変化は、申し送りで対応し、ご家族に対しても速やかに報告・相談を行っている。 ・本人の気持ちや変化があった時はスタッフ間で共有し対応している。 ・職員間で話し合いをし、その時々に合わせて支援している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・以前の暮らしなどは全員が把握できていない。（本人家族の状況により把握が難しい方もいる。独居の方や身寄りのいない方。ご家族とのコミュニケーション不足。日々の業務時間に囚われてしまい、ご利用者とゆっくりと話す時間が取れない。本人の病気やご家族が把握していない方もいるため） ・コロナ禍もあって研修に参加できていなかった。 ・外部研修への参加は出来ない（情報収集不足、限られた職員のみが研修に参加している）	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
介護職員としてのアセスメント研修や市・包括支援センターが主催する研修にも定期的に参加する。今後、増えていく認知症状のある方や、ご利用者とのコミュニケーションスキルを身に付け事業所として力を付けていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 15 日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	山崎、河内、中村、鈴野、鈴木、斉藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	9 人	4 人	1 人	14 人

前回の改善計画	実際に地域で行われている、ミニサロンや体操教室などをスタッフが見学、体験することから始め、どのようなことが地域資源になり、どのような物なのかを理解することから始めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ会議や包括支援センターで行われているオレンジカフェに参加する事はできたが、まだ、一部の職員のみ参加にとどまっている。参加後の振り返りも出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	10	3	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	4	7	3	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	9	5	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	11	2	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・オレンジカフェへの参加、地域の方と協働でラジオ体操をして交流を図っている。 ・ご本人と関わりある人を把握し、関係性が継続出来るよう支援している。 ・家族との関係が切れないう、その都度連絡をとるようにしている。 ・アセスメント表、又は、面談などで本人家族と話し生活スタイルなどを聞き取りしている。 ・地域資源の利用はできている（福祉用具、配食、ふれあい収集など含む） ・ご家族と本人の関係を大切に支援しようと努めている。 ・本人との会話の中で生活の役割や人間関係などを聞き取るようにして理解に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・年齢と共に変化するご本人の暮らしに情報収集が追い付いていない。 ・本人家族の状況により、サービスの無い時間の過ごし方については把握しきれない事もある。 ・独居の方や認知症状のある方の行動については把握するのが難しい場合がある。 ・地域でのご本人の役割などは十分に把握できていない。 ・ご家族が送り出しをされる方のでの様子は把握しにくい。 ・他職員から情報によって気付かされることがある。 ・利用回数が増え、自宅や地域で暮らす時間が少なくなった方もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ミニサロンや体操教室に継続的に参加し、スタッフ会議など事業所全体で共有する。地域共生社会の実現に向けて事業所の役割を考えていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 15 日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	山崎、河内、中村、鈴野、鈴木、斉藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	6 人	6 人	1 人	14 人

前回の改善計画	実際に地域で行われている、ミニサロンや体操教室などをスタッフが見学、体験することから始め、どのようなことが地域資源になり、どのような物なのかを理解することから始めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源の情報発信やオレンジカフェへ参加する事はできたが、一部の職員のみ参加にとどまった。事業所全体の理解にまでは至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	10	1	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7	6	1	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	7	7	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	9	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者家族の変化をキャッチし管理者やケアマネに報告する。 ・急な体調不良やご家族の都合に対応しサービスでカバーできている。 ・本人の状態やニーズに合わせて支援ができている。 ・本人の状態変化などには気づけており、朝・夕の申し送りの中で共有できている。 ・本人の変化について、小さな事でも申し送りで共有できている。認知症カフェの利用が出来た。 ・オレンジカフェなどの地域資源の活用が出来た。 ・ご本人、ご家族からのサービス変更の依頼にも対応出来ている。本人の変化には、速やかに電話やメールで状況を共有している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ニーズに合わせたサービスの提供をしたいが、ご家族の要望が色濃く反映されることがある。 ・ご家族のニーズにより、介護度に見合った利用状況ではない方もいる。 ・利用定員が設けられているために急な利用ができない方もいる。 ・地域資源にどのような物があるのか、十分に把握できていない。 ・情報収集不足によりご本人やご家族に十分な地域資源の情報提供が出来ていないと感じる。 ・職員のスキルアップのための勉強会が無い。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ミニサロンや体操教室に継続的に参加し、スタッフ会議など事業所全体で共有する。地域共生社会の実現に向けて事業所の役割を考えていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 15 日
6. 連携・協働	メンバー	山崎、河内、中村、鈴野、鈴木、斉藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	2 人	6 人	6 人	14 人

前回の改善計画	オレンジカフェ、認知症家族の会などの実態が分かるように、開催されている地域のイベントに参加し、どのようにボランティア活動や、住民や当事者同士が支え合いの仕組みを作っているかを理解し、実際にオハナで行えるボランティア活動を検討、提案していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	オレンジカフェへの参加やラジオ体操をオハナで行い、地域の方と交流機会を持つことが出来たが、事業所からのボランティアへの提案には繋げることが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	6	4	0	4	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	8	1	4	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	3	6	4	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	1	5	8	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・担当者会議や運営推進会議の開催・参加。 ・地域の方とラジオ体操の開催。 ・その他のサービス機関とは担当者会議等で連携を取っている。 ・サービス機関の会議には、管理者、ケアマネが参加している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍だった為、イベントの開催、参加が難しかった。 ・ラジオ体操以外での地域の方がオハナに来ることが無い。 ・地域の団体活動やイベントには参加できていない。登録者以外の地域住民が事業所に来ることが無い。 ・地域活動のイベントにはあまり参加が出来ておらず、他の方の来訪もあまりない。事業所が地域住民にあまり認識されていない。 ・他事業所の開催するオレンジカフェなどには参加が出来たが、オハナで開催するという目標には到達できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
自治会活動やミニサロンの活動支援や地域住民の方々がどのように支えあっているのかを理解し、地域の拠点となれるよう自分達が出来ることを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 15 日
7. 運営	メンバー	山崎、河内、中村、鈴野、鈴木、斉藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	3 人	6 人	5 人	14 人

前回の改善計画	ラジオ体操の実施や、見学、相談の実施は継続しているが、地域への周知が不十分と感ずるため、ポスティングなどを通じ周知活動を行うほか、どのような周知活動が有効かを検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	見学や相談以外でオハナを訪れる人は少なく、地域で活動への参加も少なかった。事業所の地域への周知が不十分と考えられる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3	8	1	2	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5	8	0	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	11	0	1	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	6	6	2	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・質問があればスタッフ間で話し合える環境がある。 ・ご家族からの意見によってサービスを変化している。 ・利用者や家族、地域からの意見や苦情については、迅速に対応をしている。 ・毎月の職員会議で、発言できる場を設けている。苦情などは管理者やケアマネが受付共有している。 ・自治会等の清掃などがあった場合には参加するようにしている。 ・苦情があった場合、早い時点で対応し情報共有している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との関りは多くない。 ・地域との連携協働。地域の中で何が求められているのかが把握できていない。 ・事業所の運営について意見を出したり話し合いをする機会が少ない。話し合いをする場があまりない。 ・地域と協働した取り組みはあまり行えていない。地域の方と接する場を設けられておらず、中々関わりあえていない。地域の方々から意見を頂ける状態にない。 ・地域の方からの意見を聞く機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ラジオ体操の実施や、見学、相談は継続しているが、地域への周知が不十分と感ずるため、ポスティングなどを通じ周知活動を行うほか、どのような周知活動が有効なのかを合わせて検討する。 介護保険施設として介護の困りごとや介護保険の使い方など介護相談を受けつけていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 15 日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	山崎、河内、中村、鈴野、鈴木、斉藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	9 人	3 人	1 人	14 人

前回の改善計画	法人内の内部研修に加え、介護保険で挙げられている、虐待、身体拘束、事故防止、感染症、防災対策などの内容の研修をオハナで定期的に実施していく。 外部研修は、相談援助技術、接遇、認知症介護実践者研修を優先的に受講するように計画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待防止研修や、認知症サポーター養成講座、事故防止研修などを事業所で実施する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	9	0	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	5	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	8	2	3	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	11	0	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・内部研修が法人内でも始まり徐々にスキルアップの環境ができつつある。 ・必要な研修や資格取得などスキルアップ研修に参加している。地域交流のためのラジオ体操の参加。 ・認知症実践者研修に参加する事ができた。 ・リスクマネジメントへの状況把握や共有・再発防止策の協議は出来ている。 ・リスクマネジメントへの意識は高く持てている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・WEB研修などもあるが、時間や機材の関係で参加できない事がある。 ・スタッフの人数にも課題はあり、全員が研修に参加できない。 ・長期コロナの影響もあり、職員に研修への参加意欲が低下している。 ・時間の都合や勤務調整の難しさにより参加ができない事がある。 ・外部研修の情報が少ない、魅力的な研修も少なく個々でも研修の情報を収集出来ていない。 ・施設外研修や地域連絡会などへの参加は特定の人にとどまっている。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
法人内の内部研修に加え、介護保険で挙げられている、虐待、身体拘束、事故防止、感染症、防災対策などの内容の研修をオハナで定期的に実施していく。 外部研修は、相談援助技術、接遇、認知症介護実践者研修を優先的に受講するように計画する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 15 日
9. 人権・プライバシー	メンバー	山崎、河内、中村、鈴野、鈴木、斉藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6 人	6 人	1 人	1 人	14 人

前回の改善計画	法人内の個人情報保護法などのコンプライアンス研修に加え、介護保険で挙げられている、虐待、身体拘束、事故防止、感染症、防災対策などの内容の研修をオハナで定期的実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待防止研修、認知症サポーター養成講座、事故防止研修などは継続して実施する事はできたが、外部研修は限定的な参加となってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	13	1	0	0	14
②	虐待は行われていない	13	1	0	0	14
③	プライバシーが守られている	10	4	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9	5	0	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	6	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・法人内や事業所での人権問題については取り組みを行っており、困難ケースであっても介護面でのサポートを交えながら解決に取り組んでいる。 ・身体拘束や虐待については、委員会活動があり周知をしている。個人情報についても管理が出来ている。 ・後見人制度を活用しているご利用者もいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様の前で職員同士が話をしていることがある。 ・報告共有を優先するあまり、周りへの配慮を怠る事がある。 ・事務所の個人ファイルが時折出しっぱなしになっており、適正に管理がされていない事がある。 ・身体拘束は行っていないが、複数の方が動き出した時などに「ちょっと待って下さい」などと言ってしまう事がある。 ・安全性を重視するあまり、不快な思いを感じるようなケアになっていないか心配になる事がある。（自身のケアを振り返る余裕がない）	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
法人の「個人情報保護法」「個人情報の取り扱い」について内部研修へは職員全員が受講できるようにする。また、虐待、身体拘束、事故防止、感染症、防災対策などの研修に参加し、虐待や認知症についての理解を深め適切に対応できるよう知識の習得を図る。	